

6 各アクションプランの実施ステップ

5. では、叶えたい具体的なまちのイメージその1からその4までの実現のための様々なアクションプランをご紹介しました。本アクションプランは、その1からその4まで、概ね順を追ってアクションプランを進めていくことで、まちの魅力を守りつつ、来街者をお迎えする準備も着実に整え、「住んでよし 訪れてよしのまち」に向かう組み立てとなっています。以下の表は、各アクションプランの大まかな実施ステップをイメージしていただけるよう整理したものです。

叶えたい 具体的な まちの イメージ	(仮称) プラン名称	(仮称) 荻外荘公園の公開 (令和6年予定)		まちづくり 方針との 関連性*1
		公開前	公開後	
その1	毎日「荻窪の記憶」プラン	●	→	IV-②
	それは知らなかった！プラン	●	→	IV-②
	ありがとう荻窪のみどりプラン	●	→	III-⑤
	こんな活動してますプラン	●	→	I-④
その2	荻窪的デザインでいこうプラン	●	→	III-⑦ IV-③
	ご近所優待プラン	●	→	IV-②
	まちをみどりで演出プラン	●	→	III-⑤ IV-②
その3	荻窪道しるべプラン	●	→	IV-② IV-③
	歴史的・文化的資源のはしごはかがプラン	●	→	IV-②
	これでわたしも荻窪通プラン	●	→	IV-②
その4	OHO (オープンハウスオギクボ、Open House Ogikubo) プラン	●	→	IV-②
	とっておきのイラストマッププラン	●	→	IV-③
	イマドキノツタエカタプラン	●	→	IV-③
	どうぞご自由にお掛けくださいプラン	●	→	IV-②

*1 まちづくり方針「テーマ別の取組の方向性」との関連性(次頁参照)

参考：「まちづくり方針」の目標とテーマ別の取組の方向性

<p>目標Ⅰ 人にやさしい、 歩いて楽しめるまち</p> <p>駅南北の連絡機能の強化、回遊性の向上、歩行者等や自転車利用者の安全性・快適性の向上などに取り組み、ユニバーサルデザインの考え方にに基づき、人にやさしく、歩いて楽しめるまちを目指します。</p>	<p>① 南北連絡動線の充実</p> <p>② 駅前広場機能の充実</p> <p>③ 歩行者等や自転車利用者の安全性・快適性の向上</p> <p>④ 地域連携の促進</p>
<p>目標Ⅱ 災害に強く、 安全で安心して暮らせるまち</p> <p>首都直下地震に備え、倒れにくく燃えにくいまちづくり、狭あい道路等の整備、防災機能の充実などに取り組み、安全で安心して暮らせるまちを目指します。</p>	<p>① 拠点駅周辺としての防災機能の充実</p> <p>② 木造建築物の密集度の高い住宅地の防災性向上</p> <p>③ 主要生活道路等の整備</p> <p>④ 狭あい道路拡幅整備の推進</p> <p>⑤ 幹線道路沿道等における耐震化・不燃化の促進</p> <p>⑥ 水害対策の推進</p> <p>⑦ 地域防災力・防犯力の強化</p>
<p>目標Ⅲ にぎわいと良好な住環境が調和した、 生活利便性の高いまち</p> <p>駅周辺の都市機能の充実、商店街等の歩行環境や買い物環境の向上などに取り組み、エリアごとの特性に応じて、にぎわいと良好な住環境が調和した、生活利便性の高いまちを目指します。</p>	<p>① 多様な都市機能の充実</p> <p>② 共同建替えや協調的な土地利用の誘導</p> <p>③ 商店街等の歩行環境や買い物環境の向上</p> <p>④ 荷捌き環境の改善</p> <p>⑤ みどり豊かで良好な住環境の保全・育成</p> <p>⑥ 緑化推進とオープンスペースの充実</p> <p>⑦ 地域交流の促進</p>
<p>目標Ⅳ 歴史文化の薫り漂う、住んでよし、 訪れてよしのまち</p> <p>豊かなみどりや歴史的・文化的資源を生かし、良好な景観づくりや観光まちづくりなどに取り組み、住んでよし、訪れてよしのまちを目指します。</p>	<p>① 良好な景観づくりの推進</p> <p>② 歴史的・文化的資源を生かした観光まちづくりの推進</p> <p>③ 地域の魅力発信</p>

7 今後に向けて

- ・実施主体が中心となり、各アクションプランに取り組みます。
- ・「地域住民・団体」「行政」「事業者（企業、周辺の学校等）」がそれぞれの役割を担いながら、協働により各プランに取り組みます。
- ・「住んでよし、訪れてよしのまち」の実現に向けて、住む人も、訪れる人も、互いに心地よく過ごせるようなまち歩きのある方を意識しながら取り組みます。
- ・掲載されているアクションプラン以外にも、叶えたいまちの具体的なイメージに向けた取組を進めていくにあたり必要な事項については、実施に向けた検討を進めます。

